

食料科学委員会畜産学分科会（第21期・第2回）議事要旨

日 時： 平成21年3月28日（木）10：00～11：30

場 所： 日本大学 本館12階第2会議室

出席者： 矢野秀雄（委員長）、柴田正貴（副委員長）、入江正和（幹事）、川島知之（幹事）、金井幸雄、楠原征治、佐藤英明、島本義也、泉水直人、真鍋昇、矢野史子、吉澤 緑

議 事：

1. 前回分科会の議事要旨の承認について

平成20年12月19日に行われた食料科学委員会畜産学分科会（第21期・第1回）議事要旨について承認がなされた。

2. 今後の畜産学分科会の活動について

1) 提言「畜産物の有用性」について

提言としてとりまとめつつある「畜産物の有用性」の進捗状況について、資料に基づき川島委員から説明がなされた。タイトルについて、「畜産物のはたす役割（食肉、乳、卵、蜂蜜）」に修正して、浅島部長の了解を得た上、幹事会に諮ることとなった。幹事会で了承された後、関係学協会、畜産関連団体等を介して、その啓発を図るとともに、シンポジウムも検討する。

2) シンポジウムの開催について

（1）日本食肉研究会50周年記念シンポジウム

「食肉産業・研究の現状と展望－安全性、機能性、嗜好性」と題するシンポジウムを畜産学分科会との共催で同日午後開催される旨報告があった。

（2）肉用牛研究会

10月7、8、9日に福島県の家畜改良センターで開催される本会においてシンポジウムを企画できないか検討する。

（3）畜産学分野における人材育成

畜産学の教育の現場において社会が求める人材を育成するための課題を整理し、畜産学のカリキュラム等を見直すためのシンポジウムを開催できないか、検討を続ける。

3) 関連分科会等の活動について

畜産学分科会の委員が参加している他の分科会の活動について報告がなされた。

（1）育種学分科会（泉水委員、島本委員）

「日本の展望-学術からの提言-」の育種に関連する部分で家畜育種に関する項目をとりまとめた。

（2）生物工学分科会（佐藤委員）

遺伝子組み換えに関わる技術開発とその普及に努めている。本分野の進展のため、文科省の担当者との懇談会も企画している。

(3) 安全とリスク分科会（佐藤委員）

「日本の展望-学術からの提言-」に関連する部分を取りまとめた。

(4) 持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2009分科会

本年9月17、18日に「食料のグローバルな安全保障」と題する国際会議を本分科会において準備を進めている。畜産学分科会からは川島委員が委員として参加し、畜産に関わるセッションを担当、その進捗状況について報告があった。セッションの内容について川島委員に一任することとなった。

3. その他

次回については日時場所が決定次第連絡する。

以上